

元医大助産準第18号
令和2年3月9日

関係各位

公立大学法人福島県立医科大学
助産師養成課程設置準備室長
(公 印 省 略)

公立大学法人福島県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻助産師養成コース
教員候補者の公募について（依頼）

現在、本学では助産師の安定的な養成及び高度な知識と技術を身につけた質の高い人材の養成を目指して、令和5年4月に大学院看護学研究科看護学専攻助産師養成コース、別科助産専攻の2課程の開設を予定しております。

さて、本学大学院看護学研究科看護学専攻助産師養成コース教員候補者の公募を、当初令和2年3月2日（月）を締切日としていたところですが、令和2年3月31日（火）まで延長することといたしました。

東日本大震災と原子力災害を経験した当県の実態に即して、教育・研究だけでなく将来を担う子どもたちを安心して生み育てることのできる母子保健活動及び助産師の育成に広く寄与していただける方を募集いたします。

つきましては、貴学内及び関係機関に周知いただくとともに、適任者がおられましたら御推薦くださるようお願いいたします。

※ 大学院看護学研究科看護学専攻助産師養成コース、別科助産専攻は仮称です。

記

1 職名及び募集人数

大学院看護学研究科看護学専攻助産師養成コース 准教授 1名（任期の定めなし）

2 主な担当科目

助産学領域の講義、演習、実習及び研究 等

※ 現在、カリキュラム策定中のため、担当する科目については今後決定いたします。

令和5年度の開設までは、カリキュラム編成、実習施設調整、入学者選抜方法の検討、教育必要機器・蔵書等の整備計画作成等、修士課程助産師養成コース（仮称）の開設に係る準備業務を行っていただきます。

3 応募資格（全ての要件を満たすこと。）

- (1) 博士の学位を有する者または取得の確証がある者
- (2) 助産師の免許を有する者
- (3) 臨床において助産師の実務経験が3年以上ある者
- (4) 専攻分野において教育・研究の業績を有する者
- (5) 大学院修士課程で教育・研究指導の経験がある者
- (6) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第9条に規定する欠格事項に該当しない者

4 採用年月日

令和2年4月1日以降の可能な限り早い日（応相談）

5 提出書類

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 教育研究業績書（様式2）
- (3) 教育・研究にかかるとの抱負（様式任意：2,000字以内）
- (4) 推薦書（様式任意：任意の1名の方から推薦をおとりください）
- (5) 主要論文の写し（3編以内）
- (6) 顔写真1枚（証明写真サイズ40×30mm 最近撮影のもの）

※（1）～（5）は全てA4版縦にて作成願います。

※ 様式の電子データは本学ホームページの求人・公募案内より取得いただけます。

<http://www.fmu.ac.jp/cms/somu/kyujinbosyu.html>

6 締切期日

令和2年3月31日（火）必着

※ 適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります。

7 応募書類提出先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学事務局助産師養成課程設置準備室あて「親展」

8 その他

- (1) 応募書類を郵送する場合は、簡易書留、レターパック等の追跡可能な郵便を利用し、封筒には「教員応募（修士課程助産師養成コース）」と朱書きしてください。
- (2) 選考に際して、追加資料の提出や当大学への来訪を依頼する場合がありますので、あらかじめ御了承願います。
- (3) 選考の結果は、適宜お知らせする予定です。
- (4) 不明な点は、事務担当者まで電話又は電子メールでお問い合わせください。

電子メールアドレス：jyosan@fmu.ac.jp